

8-5 情報部会

1. 主な活動の記録

(1) 情報部会の開催

部会開催回数：5回

(2) 情報部会の構成

部会の構成員は、部会長、副部会長、情報委員長、情報新技術専門委員長、情報セキュリティ専門委員長、テクリス専門委員長、ICT 委員長、ICT 副委員長、CIM 技術専門委員長、ICT 普及専門委員長、事務局である。

(3) 委員会の活動等

情報委員会は、情報セキュリティ、情報新技術及びテクリスに関する情報の協会会員への発信と RCCM（建設情報分野）の自主学習教材の作成を担当した。ICT 委員会は、主に BIM/CIM の推進と ICT の活用に関する活動を担った。

両委員会が今年度に開催を予定していた講習会は、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、CIM ハンズオン講習会は対面、GIS 講習会初対面とオンラインの併用により開催している。その他のセミナーや講習会等はウェビナー開催とし、録画を web 学習システムにより配信した。

a) 情報技術に関する技術的動向及び協会会員の活用・対応状況と課題の把握

ランサムウェア等の脅威が当業界でも問題となる中、内外の脅威及びリスクに対するセキュリティ対策の仕組みや事例を取りまとめた。さらに AI 活用に関する技術情報を収集した。

b) 他の部会及び外部機関との連携

国土交通省や JACIC 等が設置した委員会・WG 等への委員派遣、意見照会への対応・意見具

申・情報収集を行った。特に BIM/CIM に関しては、国土交通省による BIM/CIM 推進委員会関連の WG へ参加して、BIM/CIM に関する最新の情報を協会会員へ発信した。また、テクリス専門委員会は、JACIC 主催のコリンズ・テクリス利用者会議への出席に加えて発注機関及び JACIC へ引き続き意見交換の実施を要望した。

c) 啓発・普及の活動

協会会員に向けての啓発・普及活動として下表に示す各種講習会を企画・開催した。本年度は「CIM ハンズオン講習会」は全国 9 支部で開催し、GIS 講習会は 2 種類のシステムについて、それぞれ全国 9 支部と 2 回（対面式とオンラインを 1 回ずつ）で開催した。情報セキュリティ講習会と ICT セミナーはインターネットでライブ配信するとともに録画を web 学習システムで配信した。各委員会・専門委員会における活動の詳細は、個々の報告を参照されたい。

2. 次年度の活動について

ChatGPT に代表される各種 AI 技術が検証段階から実用段階に移行しつつある。情報部会では、従来のセキュリティ対策や ICT 技術に関する勉強会に加え AI 技術に係る勉強会を行い、その内容を講習会等を通じて会員企業に情報提供を行っていく。講習会については多くの参加者が見込まれる web 講習会と web 学習システムを中心として実施を検討する。

また、未来塾対応 WG が中心となって検討を始めている協会としてのデジタル・トランスフォーメーション（DX）推進についても積極的に取り組む予定である。

（情報部会部会長 新屋 浩明）

令和 4 年度の啓発・普及活動一覧

名称	開催期間	開催場所	参加者数等	担当
情報セキュリティ講習会	10 月 14 日	オンライン開催 * Web 学習システムで録画を配信（CPD 認定対象）	申込み人数：700 名 参加者数：570 名	情報セキュリティ専門委員会
ICT セミナー	11 月 30 日	オンライン開催 * Web 学習システムで録画を配信（CPD 認定対象）	申込み人数：800 名 参加者数：635 名	ICT 普及専門委員会
GIS 講習会	9 月 8 日～ 11 月 10 日	ArcGIS:ハンズオン開催 SIS:対面+オンライン開催	ArcGIS 参加者数:160 名 SIS 参加者数:9 名	ICT 普及専門委員会
CIM ハンズオン講習会	7 月 14 日～ 11 月 8 日	ハンズオン開催	土工編参加者数:158 名 構造物編参加者数:148 名	CIM 技術専門委員会